SuMPO 環境ラベル 算定ツール 使用マニュアル





本資料はSuMPO環境ラベルの算定を行う際に使用する算定ツールの使用について説明したものです。マニュアルに従って、算定・宣言の作成を行ってください。

<ご注意>

本算定ツールは、IDEA データベースを用いて算定を行うものです。このデータベースの著作権はAIST と SuMPO、また算定ツールの著作権はSuMPO に帰属し、本算定ツールを使用することで生じた発信者及び使用者の直接又は間接の損害については、使用者がその一切の責任を負うものとし、SuMPO はいかなる責任も負いません。

【変更履歴】

訂番	年月日	頁	内容
FB-04-03	2022年4月1日	_	プログラム名を変更
FB-04-02	2019年10月1日	_	改訂
			プログラム運営者、プログラム名を変更
			算定ツールフォーマットの変更に伴う記載事項の変更
FB-04-01	2017年9月22日	_	発行

【目次】

1.	算足	『に使用するファイルについて	3
	1.1.	ファイルの種類	3
	1.2.	検証申請までの全体の作業フロー	4
2.	算定	'作業	6
	2.1.	算定ツール使用申請書での作業	6
	2.1.1.	算定ツール使用申請書の概要	6
	2.1.2.	フロー図シートの作成	7
	2.1.3.	製品構成図シートの作成	7
	2.1.4.	入力シートの作成	7
	2.1.5.	データの根拠シートの作成	10
	2.1.6.	換算計算表の使い方	10
	2.2.	算定ツール(検証申請書)の利用申請	11
	2.3.	算定ツール(検証申請書)での作業	13
	2.3.1.	算定ツール(検証申請書)の概要	13
	2.3.2.	入力&結果 impact シート	15
	2.3.3.	影響評価結果シートとインベントリ分析結果シート	16
	2.3.4.	宣言シート	17
	2.3.4.	L. CFP 宣言	17
	2.3.4.2	2. エコリーフ宣言	21
	2.3.5.	その他のシートの作成	25
	2.3.6.	項目ごとの結果シートの活用	25
3.	原単	位コード一覧について	26
4.	検証	:申請手続きについて	27
	4.1.	検証申請予定の連絡	27
	4.2.	検証申請	27
5.	登録	·公開手続きについて	28

5 1	公開申請について	OC
20 1	- グン単田 電子に そうしき	·/>
O.I.		 . 40

1. 算定に使用するファイルについて

1.1. ファイルの種類

SuMPO 環境ラベルの算定は以下の2つのファイルを用いて行います。

1) FB-01 算定ツール 使用申請書

算定ツールの貸出を受ける際に使用します。

付属資料として原単位一覧と単位換算表、および、検証申請書の入力に使用するシートと同じも のが入っています。したがって、これを使って算定の準備を行うことができます。

算定ツール使用申請書はこちらから→ https://ecoleaf-label.jp/entry/application form.html

2) FB-02 算定ツール 検証申請書

実際に算定を実施し、検証時に提出する申請書となります。

1) の使用申請書で作成した入力シートとほぼ同じシートが入っており、ここに 1)にて作成したデータを貼り付けると、計算が行われ、算定結果を見ることができます。この結果をもとに、公開する宣言を作成し、申請します。

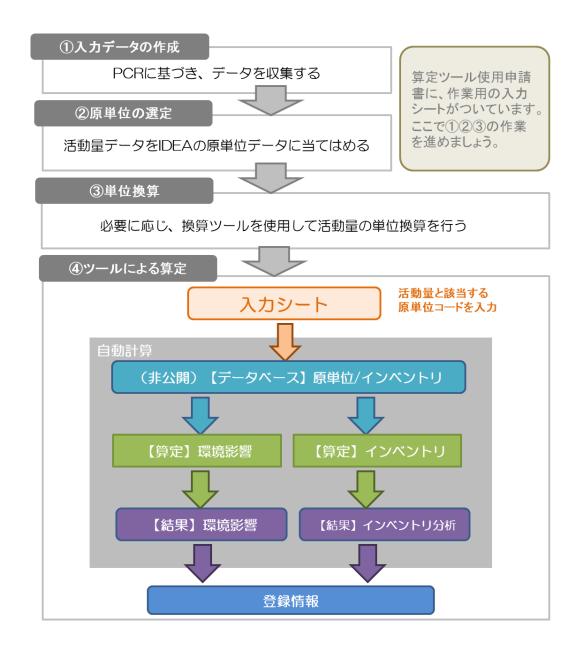
エコリーフ用と CFP 用の宣言シートが入っていますので、どちらの宣言を行うかに応じて選択して使ってください。

算定ツール使用申請を行うことで、事務局から算定ツール (検証申請書) の送付を受けることができます。

貸出期間が設定されますので、期間内に検証合格できるよう、ゆとりのある期間を設定して申請してください。

1.2. 検証申請までの全体の作業フロー

まず使用申請書で申請製品のデータの整理を行い、その内容を検証申請書に転記します。



検証申請書ファイルで直接入力しながら算定することも可能ですが、このマニュアルでは、使用申請前 にある程度算定のためのデータ整理を行うものとして説明します。 それぞれの作業に必要なファイル、シートを以下で確認してください。

	作業内容	使用するファイル、シート	参照
1	PCR に基づき、申請製品のライフサイ	使用申請書 作業用シート フロー図	2.1.2
	クルフロー図を作成する		
	フローに基づき、製品構成図を作成す	使用申請書 作業用シート_製品構成図	2.1.3
	る		
	活動量データを収集・整理する	使用申請書 作業用シート_入力	2.1.4
		使用申請書 作業用シート_データの根拠	2.1.5
2	収集した活動量データに対応する原単	使用申請書 作業用シート_入力	2.1.4
	位をあてはめる	使用申請書 原単位コード一覧	3
3	必要に応じ、原単位の単位にあわせて	使用申請書 原単位コード一覧	2.1.6
	活動量を単位換算する	使用申請書 換算計算表	
	算定ツール使用申請手続き ⇒	算定ツール(検証申請書)を入手	2.2
4	検証申請書の入力シートに使用申請書	使用申請書 作業用シート フロー図	2.3.2
	の作業用シートの内容を転記する	使用申請書 作業用シート_製品構成図	2.3.5
		使用申請書 作業用シート_入力	
		使用申請書 作業用シート_データの根拠	
		検証申請書 フロー図	
		検証申請書 製品構成図	
		検証申請書 入力&結果 impact	
		検証申請書 データの根拠	
	算定(自動計算)	_	2.3.3
	算定結果をもとに、宣言を作成する	検証申請書 CFP①②②+	2.3.4
	(表示項目の選択、解釈や追加情報の	検証申請書 エコリーフ①②	
	記載等)	検証申請書 【結果】LC 影響評価	
		検証申請書 【結果】インベントリ分析	
5	検証申請・公開	検証申請書	4
			<mark>5</mark>

2. 算定作業

2.1. 算定ツール使用申請書での作業

2.1.1. 算定ツール使用申請書の概要

算定ツール使用申請書には、以下のシートが入っています。

- ① 使用規約
- ② 使用申請書
- ③ 換算計算表
- ④ 原単位コード一覧
- ⑤ 作業用シート_入力
- ⑥ 作業用シート データの根拠
- ⑦ 作業用シート_製品構成図
- ⑧ 作業用シート フロー図
- ⑨ 基本フロー,影響領域

⑤~⑧の作業用シートは、検証申請書ファイルにもほぼ同じシートが入っています。データ整理に 活用してください。

使用申請時、作業用シートの中身に関しての事務局チェックは行いません。算定作業の途中でも使 用申請は可能です。

★使用申請書のファイルで算定準備作業したほうがよい理由は以下によります。下記を踏まえ、ご自身の適切なタイミングで算定ツール(使用申請書)の使用申請を行ってください。

- ・使用申請時、使いたい利用可能データを選択して申請するため、ある程度のデータ収集は先に進めてお く必要がある。
- ・検証申請書には原単位コード一覧がついていないので、検索がしづらい。
- ・換算計算表が使用申請書のファイルの中に入っている。
- ・検証申請書の入力シートは挿入・削除ができない。
- ・検証申請書のファイルはデータ量が多いため、PCによっては作動が遅くなる場合がある。
- ・検証申請書の貸与は有料であるため、事前準備を行うことで貸与期間を短く (=費用を安く) すること ができる。

2.1.2. フロー図シートの作成



PCR に基づき、当該製品のライフサイクルフロー図を作成します。

※Excel シートとなっていますが、PPT等で作成したものを貼り付けても構いません。

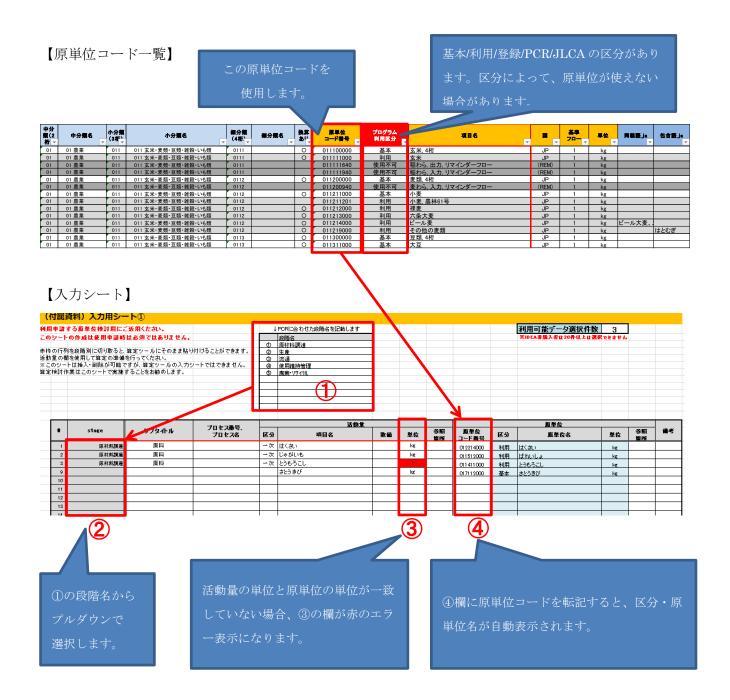
2.1.3. 製品構成図シートの作成



検証時に製品の構成がわかる内容を記載し ます。

2.1.4. 入力シートの作成

- 1) PCR で定められた段階名を、入力シートの①の欄に記載します。これにより、②の段階名欄の各項目に対して記載する段階名は、プルダウンで選択できるようになります。
- 2)活動量について入力します。
- 3) 「SuMPO 環境ラベルプログラム 原単位コード一覧」シートから、活動量に該当する原単位のコード番号をコピーして④の欄に貼り付けます。原単位コード一覧の見方は「3. 原単位コード一覧について」を参照してください。
- 4) 単位の記入間違いに気を付けてください。また、活動量の単位と原単位の単位が一致しない場合、「換算計算表」を用いて単位換算してください。「換算計算表」は使用申請書ファイルに保管されています。(使い方は本マニュアル「2.1.6 換算計算表の使い方」を参照) 活動量の単位と原単位の単位が一致していない場合、③の欄が赤くなります。



★利用できる原単位の区分について

- ・利用区分が「基本」および「登録」となっている原単位はすべて使用できます。
- ・「利用」の原単位は 20 項目まで選択利用することができます。(IDEA v2 を購入済みの方は、「利用」の全件が使用できます。)
- ・「PCR」の原単位は、当該製品のPCRで定められている場合にのみ使用することができます。
- ・「JLCA」の原単位は、LCA日本フォーラム会員のみが使用できる原単位です。この原単位の使用を希望する方は、LCA日本フォーラムへの加入が必要です。
- ・上記の原単位で不足する場合は、申請により「登録原単位」として新たな原単位を追加することができます。(登録原単位として登録するには、一定の基準を満たす必要があります。)

★基本フローの入力について

原単位とは異なりますが、原単位一覧には「EF」として IDEA の基本フローの項目も入っています。 以下のような場合は、この基本フローを直接原単位コード欄に入力して使用してください。

基本フローを直接入力する場合の例:

・地下水や河川から汲み上げた水を使用している場合

(エコリーフで水消費量の適切な値を算定するためには、汲み上げに使用したエネルギーだけでなく、使用した水の量を基本フローとして入力する必要があります。※上水や工業用水の原単位を使用した場合は、原単位の中に水の消費も含まれているため、別計上する必要はありません。)

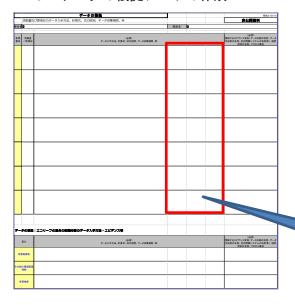
- ・農業による N2O や CH4 の排出がある場合 (肥料の原単位には、施肥に伴う N2O の排出は含まれていないため、別途計上する必要があります。)
- ・工場や施工現場での VOC の排出等がある場合

このデータ整理作業の中で、使用する原単位の抽出を行います。

プログラム利用区分と原単位の関係

	プログラム利用位力と原手型の関係
プログラム利用区	記載された原単位を使用できる人
分	
基本	プログラムに参加する全員が使用できます。
利用	IDEA を購入している方は全件使用できます。
	未購入の人は、使用申請書で申告した 20 件までを選択使用できます。
PCR	該当する PCR を使用して申請する方のみ使用できます。
	(原則として、PCR 本文中に番号が記載されており、「JP-●●-XXXX」の真ん中
	のアルファベット 2 文字が PCR の「PA-XXXXXX-●●-YY」に該当します。)
JLCA	LCA 日本フォーラムの会員企業の方のみが使用できます。
PCR · JLCA	該当する PCR を使用し、かつ LCA 日本フォーラム会員の方のみが使用できます。
登録	プログラムに参加する方全員が使用できます。
登録・CFP 専用	CFP のみの宣言を行う方が使用できます。
	エコリーフのみ、CFP/エコリーフ同時申請の方は使用できません。
PCR・CFP 専用	該当する PCR を使用して、CFP 宣言のみの申請をする方が使用できます。
EF	プログラムに参加する方全員が使用できます。
	基本フローを直接入力する場合に使用します。
使用不可	基本的に使用しません。
	(リサイクル材を負荷0で投入する場合のリマインダーとして記載されています。)

2.1.5. データの根拠シートの作成



入力シートに記入する活動量がどのように してできた数値なのかの説明を記載します。 データの入手方法・計算式のセルは複数に分割 されていますので、ここに計算式を入れて作業 をすることも可能です。

行が足りない場合は適宜挿入追加してくださ い。

このシート上で計算を行う場合は、 このセルを活用してください。

2.1.6. 換算計算表の使い方

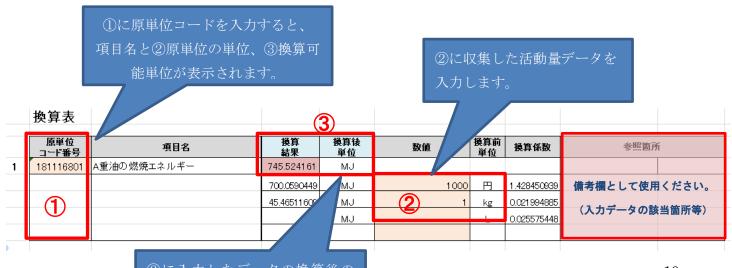
本算定ツールでは、用意したデータの単位が IDEA 原単位と同一でない場合、単位変換表を用いて IDEA の単位へ数値を変更することができます。

算定ツール使用申請書のファイルの中から、以下の2つのシートを使用します。

- 1) 原単位コード一覧
- 2) 換算計算表

<作業手順>

- 1. 原単位コード一覧シートの原単位コード番号をコピーし、換算計算表シートの「原単位コード番号」のセル(①) へ貼り付ける。
- 2.「数値」セル(②)の中に、用意した数値を記入する。
- 3.「換算結果」セル(③)に IDEA の原単位の単位に変換された数字が表示される。この数字を、 算定ツールコピーペーストして算定を行う。



②に入力したデータの換算後の 合計値が表示されます。 上記の場合、③のとおり、A重油の燃焼ネエルギーの原単位の単位はMJとなります。

②欄で実際に収集した単位にあわせた活動量を入力します。 (ここでは 1000 円と $1 \log 0$ 2 種類の活動量データがあるものとしています) 1000 円を MJ 換算すると $700.059 \cdots MJ$ 、 $1 \log 0$ を MJ 換算すると $45.465 \cdots MJ$ となり、それを合算した値として③で $745.524 \cdots MJ$ 、が算出されます。

<単位変換表の行数を増やす場合>

4の行全体をコピーして4の直後に貼り付けてください。

24	•	FF.W/ H-		10 bbs	10 bb-64		10 kb-16	
25		原単位 コード番号	項目名	換算 結果	換算後 単位	数値	換算前 単位	参照箇所
26	4			0				
27	1							
28	2							
29	3							
30	4							
-04								
32		原単位	項目名	換算 結果	換算後 単位	数値	換算前 単位	参照箇所
32	5	コード番号		結果	単位		単位	参照箇所
32	5	コード番号	_{項目名} ・【24~30 行】を【31 行】	結果	単位		単位	参照箇所
32	5 1 2	コード番号	・【24~30 行】を【31 行】	結果 ○ に貼り付	単位		単位	参照箇所
32 33 34	5 1 2 3	コード番号		結果 ○ に貼り付	単位		単位	参照箇所

2.2. 算定ツール (検証申請書) の利用申請

入力するデータの整理ができたら、算定ツールの使用申請を行います。

【使用申請書】シートの必要事項を記入し、事務局(<u>ecoleaf@sumpo.or.jp</u>)へ送付してください。

SuMF	O環境ラベルプロク	プラム 算定ツー	-ル使		3-01						
	《使用規約を必ず確認し、同									4 71	7 + 1
貸出申請日	年月日							原単位の区分が	14 「利用」 と	なってい	200
1)貸出申請者					_						
中間組織名								のうち、使いた	とい原単位の)コード番-	号をこ し
ふりがな 事業者名									_ · //,1 ·	'	,
中數者連絡先								こに記載します	-		
部署名等								- 一に収しより	0		
投職等											
ふりかな	ふりがな		ふりがな					(区分・項目名	占は目動表示	されます。	
氏名	氏		8								
e-mailアドレス 電話番号 ※半角											
电级银号 米十月	〒 ※半角		都道路	企 包	_						
所在地	市区郡以下		37.00								
	ビル名等			4)使用する利用可							
								10000			
2)ツール使用者			,		東用したい 利用可能デー 原単位	を影響してくだっ	118	で申請可能です。			
ツールを使用する方が「	・競者と異なる組織の場合のみご記入	下さい。(コンサル等)		No.	コード番号		,	項目名			
事業者名				1		#N/A	#N/A				
部署名・役職等				2		#N/A	#N/A				
ふりがな 氏 名	ふりがな 氏		ふりがな 名	3		#N/A	#N/A				
e-mailアドレス				4		#N/A	#N/A				
電話(固定・携帯) ※半角				5		#N/A	#N/A		1		
	〒 ※半角		都让	6		#N/A	#N/A				
所在地	市区都以下		_						-		
	ビル名等			7		#N/A	#N/A		-		
				8		#N/A	#N/A				
	とか所配入した場合は、どちらが請求!	もかをご配入ください。		9		#N/A	#N/A				
事業者名/氏名				10		#N/A	#N/A				
3)貸出内容				11		#N/A	#N/A				
IDEA購入区分	選択してください	LCA日本フォーラム		12		#N/A	#N/A				
種別	● 資定ツール	() EDBITHOCEPSE	_	13		#N/A	#N/A		1		
使用期間	â ※1	年 月 日 選択してください ※3	至 ※2	14		#N/A	#N/A		_		
	選択してください			15		#N/A	#N/A		1		
使用目的			_	16		#N/A	#N/A				
同意事項 ※使用規約をご確認ください	選択してください		_	17		#N/A	#N/A		1		
データの送付方法 ※算定ソールは約20MBです	選択してください		_	18		#N/A	#N/A		1		
※1 使用期間開始日は、	申請書提出日から最短2営業日後として	てください。	-	19		#N/A	#N/A		-		
※2 算定ツール使用期間	lは、登録公開申請完了までを考慮して DCFP算定ツールは1か月~12か月、通	ください。網閣を過ぎると値があ	テされない月の中:	19		MR/A	#re/ A		-		

使用申請時は、以下の情報を必ず記入してください。

- ・IDEA を購入しているか
- ・LCA 日本フォーラムの会員か
- ・使いたい利用可能データ (最大20件)の内訳
- この情報に応じ、事務局より使える原単位を選択した算定ツールをお送りします。

(特に指定がない場合、基本/登録/PCR に該当する原単位のみが使用できる算定ツールとなります。)

算定ツールは約 20MB の大容量 Excel ファイルとなっています。

メールでの送付ができないため、必ずストレージサービス等の送付方法を指定してください。

2.3. 算定ツール (検証申請書) での作業

2.3.1. 算定ツール (検証申請書)の概要

算定ツール内で保管された「シート一覧表」シートは入力者のツール全体構成への理解を助けます。 左のシート名をクリックすると、各様式に移動することができます。

SuMPO環境ラベル 算定ツール シート一覧表

様式0-2

↓シート名を選択してクリックすると、該当の様式へ移動します。

デフォルト の表示シー	作成		No,	シート名	様式名	ウェブサイト
•	_	管理用	0-1	概要・改訂履歴	概要・改訂履歴	非公開
	_	百生用	0-2	シート一覧表	シート一覧表	-
	•		1	申込・申請書	SuMPO環境ラベルプログラム検証申込・申請書	非公開
•	•	(1)	2	<u>チェックリスト</u>	検証申請書セルフチェックリスト	非公開
	•	全般	3	フロー図	フロー図	非公開
	•		4	製品構成図	製品構成図	非公開
	•		5	<u>データ根拠</u>	データの根拠	非公開
	•	(2)	6-1	入力&結果impact	入力 & 項目別影響評価結果	非公開
_	任意	入力&結果	6-2	入力 & 結果impact⑥	入力 & 項目別影響評価結果(6段階目以降)	非公開
_	任意		6-3	入力&結果impact(間接影響)	入力 & 項目別影響評価結果(間接影響)	非公開
	•	3	7-1	<u>エコリーフ①</u>	エコリーフ宣言 シート1	公開
	•	_	7-2	<u>エコリーフ②</u>	エコリーフ宣言 シート2	公開
	•	宣言	8-1	<u>CFP①</u>	CFP宣言 シート1	公開
	•		8-2	CFP2	CFP宣言 シート2	公開
_	任意		8-3	CFP@+	CFP宣言 シート2 (6段階以上の場合)	公開
	自動	結果	9	【結果】LC影響評価	環境影響結果一覧(段階別)	非公開
	自動	MAZIC	10	【結果】インベントリ分析	インベントリ分析結果一覧(段階別)	非公開
	自動	項目別	11-1	結果inventory	項目別インベントリ分析結果	非公開
_	自動	LCI結果	11-2	<u>結果inventory⑥</u>	項目別インベントリ分析結果(6段階目以降)	非公開
_	自動		11-3	結果inventory(間接影響)	項目別インペントリ分析結果(間接影響)	非公開
TEAN (THE SECOND		参照用	0-3	原単位コード一覧	原単位コード一覧	-
非公開(事務局の	_	管理用	0-4	【DB】原単位	IDEA原単位/特性化データ	非公開

青枠のシートは自動作成されるため、作業は不要です。

- ①の全般に該当するシートは、検証申請を行う人全員が作成するものとなります。
- ②、③のシートは申請する内容に応じて、それぞれ必要なシートを作成します。

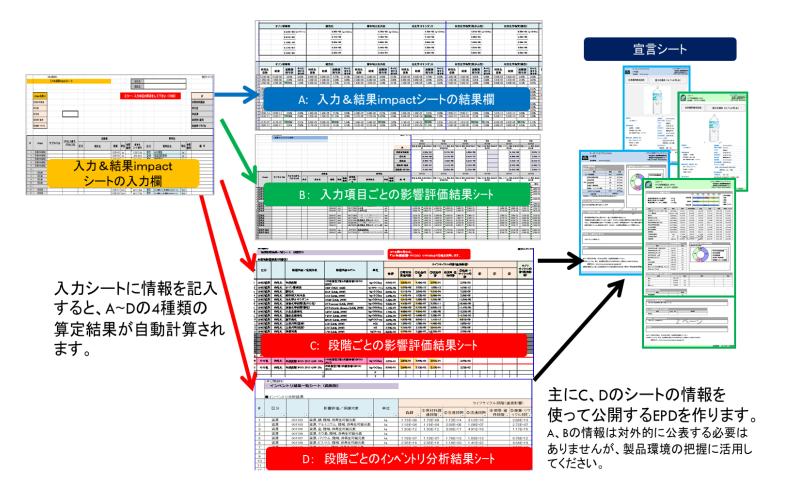
例:

- ・エコリーフ宣言のみを行う人は、CFP宣言のシートの作成は不要です。
- ・PCR で定められた段階が 5 段階以内で、追加情報に間接影響のコミュニケーションを行う予定がない場合は、入力&結果 impact は 10-1 の 1 シートのみを作成します。

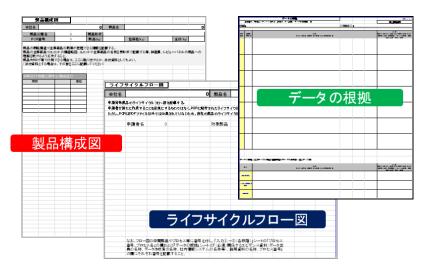
算定ツール (検証申請書) は以下の図のような構成となっています。入力&結果 impact シートに入力

すると、他のシートに転記され、数値が自動計算されます。(A~D)

主に C: 段階ごとの影響評価結果 および D: 段階ごとのインベントリ分析結果のシートの情報を元にして、公開する宣言シートを作成します。

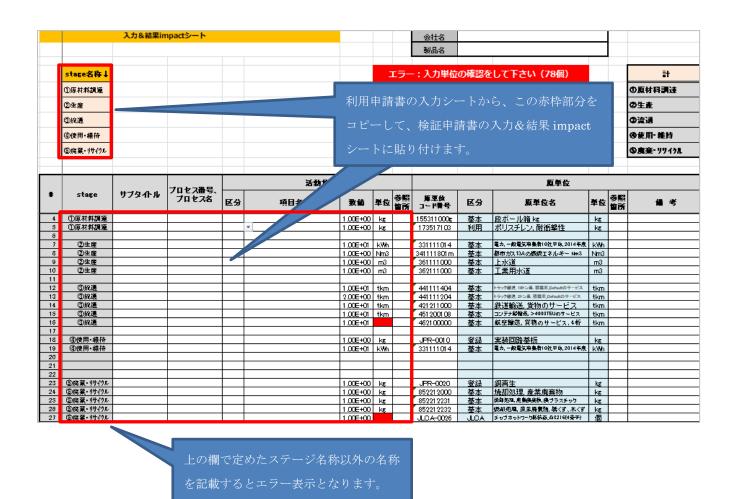


その他、データの根拠シート・製品フロー図・製品構成図 を作成します。(この3つのシートは結果 数値とはリンクしていませんが、検証時に算定内容を確認するために使用します。)



2.3.2. 入力 & 結果 impact シート

- 1)使用申請書の入力シートに記載した内容を、入力&結果 impact シートに転記します。
- 2) 原単位名、単位等が自動で記載されます。これらは算定に関わる全てのシートに転記されます。
- 3) このシートの内容は、各結果シートと連動しています。挿入・削除はしないでください。



入力&結果 impact シートに記載した内容は、他のシートに転記され、インベントリ分析、環境影響評価の自動計算が行われます。

PCR で定められた段階が 6 段階以上ある場合は、5 段階目までを「入力&結果 impact」シートに記入し、6 段階目以降を「入力&結果 impact⑥」シートに入力します。(入力の方法は同じです)

2.3.3. 影響評価結果シートとインベントリ分析結果シート

2.3.2 で解説があるように、入力&結果 impact シートで入力された活動量、原単位は、環境影響とインベントリ分析の結果シート等に自動で転記され、数値が自動計算されます。これらのシートに直接入力することはできません。

自動計算された数値は、「環境影響結果一覧」と「インベントリ結果一覧」のシート上で結果を一覧表と して確認することが出来ます。また、宣言に各項目の数値や図表を掲載する場合、これらのシートの数値 を用いて、別途図表を作成することができます。





2.3.4. 宣言シート

宣言は、以下のシートが保管されています。公開を希望する方の宣言を作成してください。

- 1) CFP(1)
- 2) CFP2
- 3) エコリーフ①
- 4) エコリーフ②

この項の内容は、検証申請時に記載しておくべき事項と、検証後に事務局から通知される内容をもとに、公開時までに記入すべき事項があります。

説明中では、検証申請時は未記入でよい(検証後公開までに記入する)内容はグレーで表記します。

2.3.4.1. CFP 宣言

「CFP①シート」

CFP 宣言を行う場合に使用します。以下の項目について算定する製品に応じて記入してください。



①事業者名、②製品名称

企業名、製品名は識別できるものであれば、ロゴや独自フォントも使用可能です。 ロゴと文字を併記しても構いません。 点線の枠は目安として入れているものなので、削除して適宜バランスを整えて下さい。

③製品写真

複数枚を組み合わせても構いません。製品の概要がわかる写真を貼り付けしてください。 点線の枠は目安として入れているものなので、削除して適宜バランスを整えて下さい。

④製品単位

1個/1 kg/1 本/1 台あたり等算定の単位を入れてください。(PCR で定められています。)

⑤算定対象段階

最終財/中間財の区分に加え、算定の対象とした段階を具体的に記載してください。 例:原材料調達段階および生産段階 など。

⑥製品の型式・緒元

製品を特定できる情報を入れて下さい。

⑦問い合わせ先

法人名、企業 URL、電話番号を入れてください。 個人名は不要です。

⑧登録番号

申請時は空欄。

検証合格時に事務局より通知し、公開時に記載いただきます。 (登録番号欄に記載すると、上下枠部分の登録番号セルにも同じ内容が自動転記されます)

⑨適用 PCR 番号/PCR 名

使用した PCR を、版数も含めて記載します。(申請書シートに記載していれば、自動転記されます)

⑩公開日

申請時は空欄。

検証合格後、公開申請時に記載いただきます。

①検証合格日/更新日

申請時は空欄。

検証合格した日を公開申請時に記載いただきます。

⑫検証方式

個品別検証方式/システム認証方式を記載します。

(デフォルトは個品別検証方式になっています。システム認証取得企業の対象製品の場合のみ、「システム認証方式」に書き換えてください)

① 検証番号

申請時は空欄。

検証合格時に事務局より通知し、公開時に記載いただきます。

申請時は空欄。

検証合格日より5年後の日付が自動表示されます。

⑤PCR レビューの実施

使用した PCR の表紙に記載された、認定日等/委員長氏名・所属を記載します。

16第三者検証者

申請時は空欄。

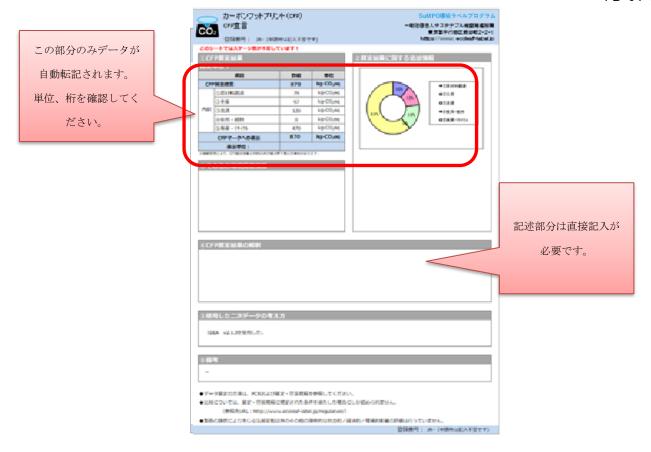
検証員が決定したら、検証員の名前を記載します。(所属は記載不要)

「CFP②シート」

算定結果数値・グラフが自動転記されます。記述項目は直接記入が必要です。

算定結果の単位はkgで表示されます。算定した製品によっては、gやtなどの表示の方がわかりやすい場合があります。単位は適宜修正してください。

記述の仕方については、JR-07 算定・宣言規程(総則、要求事項) 2.3 CFP 宣言の内容 を参照してください。



「CFP②+シート」

PCR で定められた段階が 6 段階以上ある場合は、「CFP②」シートではなくこちらを使用します。 (段階が多く記載されているだけで、その他の記載内容は同じです。)

2.3.4.2. エコリーフ宣言

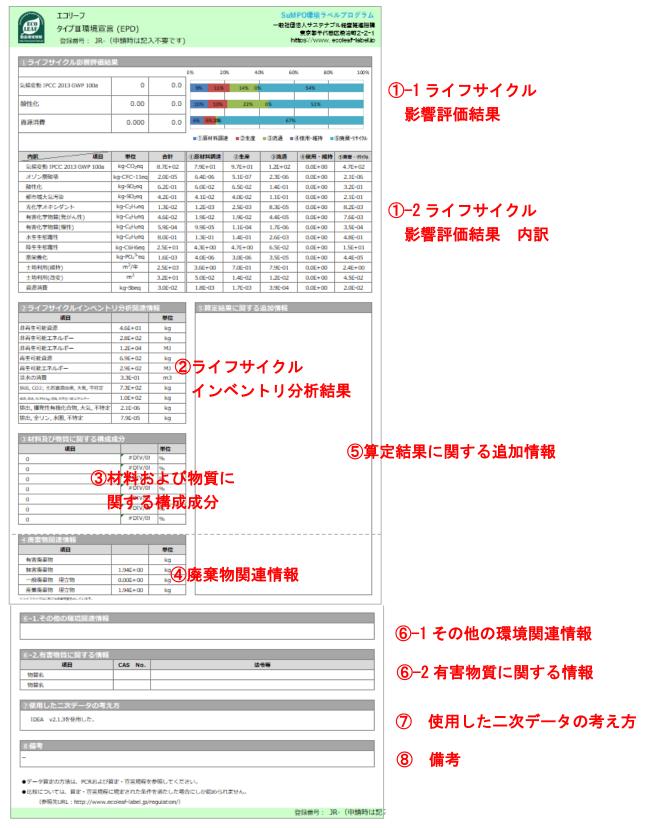
「エコリーフ①シート」

CFP①シートの作成方法と同様です。作成方法は2.3.4.1を参照してください。



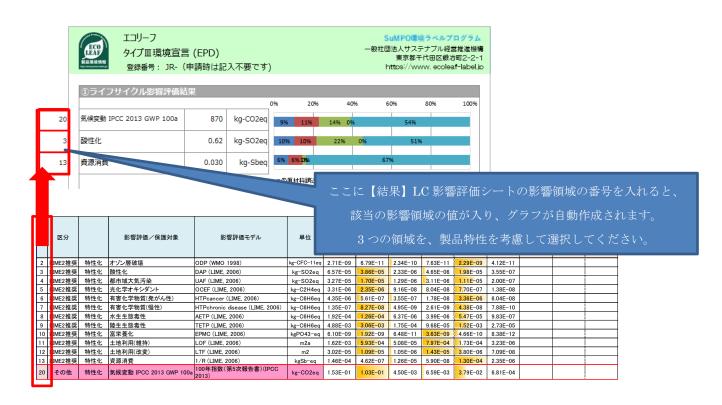
「エコリーフ②シート」

エコリーフ宣言は、算定ツールの計算結果から、自身が公開する内容を選択して表示させる作業が必要になります。



① -1 ライフサイクル影響評価のグラフの作成

下の内訳欄で開示する影響領域の中から3つを選択し、表示します。



① -2 ライフサイクル影響評価 内訳

デフォルトでは以下の13の影響領域が表示されます。

プログラムのルールでは、3つ以上の開示が必須となっています。すべてを開示する必要はないため、製品特性・宣言の目的に応じて、開示する項目を決めてください。PCR で開示が必須となっている領域がある場合は、3つ以上であっても必ず表示します。

内訳 項目	単位	合計	①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持	⑤廃棄・リサイクル
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO₂eq	1.5E-01	1.0E-01	4.5E-03	6.6E-03	3.8E-02	6.8E-04
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	2.7E-09	6.8E-11	2.3E-10	7.6E-11	2.3E-09	4.1E-11
酸性化	kg-SO₂eq	6.6E-05	3.9E-05	2.3E-06	4.6E-06	2.0E-05	3.6E-07
都市域大気汚染	kg-SO₂eq	3.3E-05	1.7E-05	1.3E-06	3.1E-06	1.1E-05	2.0E-07
光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	3.3E-06	2.4E-06	9.2E	J	HH - 1 2.1.7	ಪ 🗆)).
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	4.4E-06	5.6E-07	3.6E-07		開示しない	貝目/3
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	1.3E-07	8.3E-08	4.9E-09		非表示にしる	ます。
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.9E-04	1.3E-04	6.4E-06		<u> </u>	
陸生生態毒性	kg-C6H6eq	4.9E-03	3.1E-03	1.7E-04	9.7E-05	1.5E-03	2.7E-05
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	6.1E-09	1.9E-09	6.5E-11	3.6E-09	4.7E-10	8.4E-12
土地利用(維持)	m ² /年	1.6E-03	5.9E-04	5.1E-05	8.0E-04	1.7E-04	3.2E-06
土地利用(改変)	m ²	3.0E-05	1.1E-05	1.1E-06	1.4E-05	3.8E-06	7.1E-08
資源消費	kg-Sbeq	1.5E-04	4.6E-07	1.3E-05	5.9E-08	1.3E-04	2.3E-06

※ISO21930 対応の場合は、気候変動/オゾン層破壊/酸性化/光化学オキシダント/富栄養化が必須開示となります。

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

デフォルトでは10項目が表示されています。

プログラムのルールでは、2つ以上の開示が必須となっています。製品特性・宣言の目的に応じて、 開示する項目を決めてください。PCRで開示方法が指定されている場合は、それに従ってください。

上の 6 項目は、【結果】インベントリ分析シートの結果をある程度集約した開示となっています。下の 4 項目は、約 200 項目の IDEA のインベントリから任意で 1 つずつの基本フローの項目を表示させることができます。

なお、集約開示の項目については、製品特性、目的によってインベントリの集約方法を変える必要が ある場合も考えられますので、注意が必要です。

1	②ライフサイクルインベント	リ分析関連	情報	開示しない項目は非表示にします。
	項目		単位	
	非再生可能資源	4.1E-04	· · · · · ·	
	非再生可能エネルギー	6.0E-02	kg	
	非再生可能エネルギー	2.6E+00	МЈ	
###	再生可能資源	1.1E-03	kg	↑
34	再生可能エネルギー	5.9E-02	MJ	- - 集約表示したもの
39	淡水の消費	9.1E-05	m3	未が扱かしたもの
116	排出, CO2; 化石資源由来, 大気, 不特定	1.5E-01	kg	
37	資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	1.1E-02	kg	基本フローの個別表示
139	排出,揮発性有機化合物,大気,不特定	4.1E-09	kg	*
173	排出,全リン,水圏,不特定	7.5E-10	kg	

_													
			ライフサイクル段階(直接影響)										
#	区分	-	影響評価/保護対象 - -	単位	合計	①原材料調達 🔻	②生産	③流通	④使用·維 持 ▼	⑤廃棄・リサイ クル 🕶	6	7	8
1	資源		資源,銀,陸域,非再生可能元素	kg	1.92E-05	1.03E-10	1.67E-06	1.78E-10	1.72E-05	3.09E-07			
2	資源	O	資源, アルミニウム, 陸域, 非再生可能元素	kg	9.41E-06	1.02E-06	7.96E-07	1.20E-06	6.28E-06	1.13E-07			
3	資源	00	0. 金. 陸域, 非再生可能元素	kg	7.80E-09	2.80E-14	7.17E-10	4.97E-14	6.96E-09	1.25E-10			
4	資源	0011	ホウ素, 陸域, 非再生可能元素	kg									
5	資源	001107	ウム, 陸域, 非再生可能元素	kg	1.88E-08	7.30E-09		1.15E-08					
6	資源	001109	7. 陸域, 非再生可能元素	kg	2.84E-18	1.04E-18		1.80E-18					
7 4	資源	001115	- 技域, 非再生可能元素	kg	2.97E-09	1.20E-09		1.77E-09					
8	酒	001116	非再生可能元素	kg	1.53E-08	1.29E-10	1.30E-09	2.72E-10	1.33E-08	2.40E-10			
9	資源	001118	資源可能元素	kg	1.51E-04	1.83E-10	1.44E-05	3.26E-10	1.34E-04	2.41E-06			
10	資源	123	資源. 生元素	kg	4.30E-07	5.38E-08	2.81E-08	1.17E-07	2.27E-07	4.09E-09			

この赤枠に【結果】インベントリ分析 シートの項目の番号を入れると、 該当の評価対象の値が入ります。

- ※ISO21930 対応の場合は、非再生可能資源(kg)/非再生可能エネルギー(MJ)/再生可能資源(kg)/ 再生可能エネルギー(MJ)/淡水の消費 の開示が必要です。
- ※淡水の消費の集約開示は、ISO21930 対応用の集計を行っています。他の製品で開示を行う場合は、この 開示方法でよいか必ず確認してください。

③ 材料および物質に関する構成成分

自動では計算されません。原則として、合計値が 100%となるように記載してください。 製造上の機密情報に関わる場合は、<●% 等の記載を用いても構いません。

PCR で認められている場合は、重量表示に変更も可能です。

③材料及び物質に関する構成成分							
項目	単位						
	%						
	%						
	%						
	%						
	%						
	%						

④ 廃棄物関連情報

PCR で定められた開示方法に従ってください。有害廃棄物を記載する場合には、法令等で定められた 有害廃棄物の一次データを記載します。無害廃棄物、一般廃棄物。産業廃棄物の欄は自動表示されま す。

④廃棄物関連情報		
項目		単位
有害廃棄物		kg
無害廃棄物	8.51E-05	kg
一般廃棄物 埋立物	0.00E+00	kg
産業廃棄物 埋立物	8.51E-05	kg

※ISO21930 対応の場合は有害廃棄物/無害廃棄物の表示を行います。この場合は、一般廃棄物/産業廃棄物の記載を非表示にしてください。

⑤⑥⑦⑧の記載方法については、JR-07 算定・宣言規程(総則、要求事項)2.2 エコリーフ宣言の内容を参照してください。

2.3.5. その他のシートの作成

データの根拠、フロー図、データの根拠シートを作成します。 (使用申請書の段階で作成したものを貼り付けます。)

2.3.6. 項目ごとの結果シートの活用

【結果】および【結果インベントリ】のシートでは、活動量ごとの算定結果を見ることができます。CFP の解釈欄の記述をする際や、製品開発のための分析に活用してください。

3. 原単位コード一覧について

エコリーフ環境ラベル算定ツールは、IDEA のデータおよびプログラムで認定した独自の原単位を搭載しています。IDEA の原単位のコード番号は、原則 IDEA コードそのものを使用しています。コード番号の左 2 桁が中分類名のコード(2 桁)に対応しています。

換算ありと表記されたデータは、別シートにある「換算計算表」上で、活動量の単位を原単位コード表の単位に換算することが出来ます。(項目によって換算可能な単位の種類と数は異なります。)

<原単位コード表>※一部省略しています

中分類名	換算	原単位 コード番号	項目名	単位	換算単位1 *	換算単位2	換算単位3	換算単位4	データ 区分 🔻
01 農業	0	011100000	玄米, 4桁	kg	円				基本
01 農業	0	011111000	玄米	kg	円				利用
01 農業		011111640	稲わら, 出力, リマインダーフロー	kg					利用
01 農業		011111940	稲わら, 入力, リマインダーフロー	kg					利用
01 農業	0	011200000	麦類, 4桁	kg	円				基本
01 農業		011200940	麦わら, 入力, リマインダーフロー	kg					利用
01 農業	0	011211000	小麦	kg	円				基本
01 農業		011211201	小麦, 農林61号	kg					利用
01 農業	0	011212000	裸麦	kg	円				利用
01 農業	0		六条大麦	kg	円				利用
01 農業	0	011214000	ビール麦	kg	円				利用
01 農業	0	011219000	その他の麦類	kg	円				利用
01 農業	0	011300000	豆類, 4桁	kg	円				基本
01 農業	0	011311000	大豆	kg	円				基本
1	2	3	4	⑤		(3)		7

IDEA コードは以下のような基準に従って番号がつけられています。

①中分類名:43 の項目でデータ分類されています。

②換算あり:単位の換算が可能な項目が○で表示されています。

③原単位コード番号:このコード番号をコピーして算定ツールで使用してください。

④項目名:原単位の名称です。

⑤単位:活動量を入力する際、この原単位の単位と一致している必要があります。一致しない場合、換算ありとなっている項目は、単位換算表を用いて活動量の単位を変換してください。換算ができない場合、活動量データの再収集または、原単位選択の変更をしてください。

⑥換算単位 1~4:換算ありの場合、どのような単位から換算できるかが記載されています。

⑦データ区分:基本データと利用可能データの区分が記載されています。基本データはすべて使用することができます。利用可能データは使用できる件数に制限があり、算定ツールの使用申請時に申告したものしか使うことができません。

4. 検証申請手続きについて

4.1. 検証申請予定の連絡

検証申請を行う時期が決定したら、算定ツールの「検証申請書」シートに必要事項を記入し、このページのみ PDF にして事務局へ事前送付してください。事務局はこの申請に基づき、検証員を選定します。

	eMpo	運搬うが むつ	プロガラ た 快気 中に	Sab 122	模式1			
			プログラム検証申					
			員、検集員 情報為有用支料となり い、検集中請予定の連絡時には不					
検証中請予足日	9 8 8	7						
医検尿中路日	\$ A B	7						
検罪について		_						
中銷程度	五名程度	公開情報の言語	塞チェックリス	トでの白己も	は果の有意			
選択してください	選択してください	選択してください	選択	択してください				
赤什度料袋匙の有意			妥事付資料の申 書				1 551 1 1 - 1	
選択してください						事育	前送付時、	$\mathcal{K}\mathcal{O}$
	ಕೂಡಿಂಪಿಕ	8事項(幸豐スケジュ	〜ル等 }		他最高への対応			
					選択してください		ど欄で構り	ょせ
申請内容について								
PCR 香号			PČR <u>&</u>					
	花晶名		元表表表	の日中航庫	同時中頭是基型			
			選択して					
A-VACT								
格夫等								
\$ \$\$6					l			
部署名等								
役職等		_						
			ふりがな		I			
3-V6/4	3-00%				I			
医名	3-166tz Et;		8					
Б. А «тнантРКЫх								
医名	Et,		8	(許見)				
Б. А стиантуких				游 星				
氏 名 emailアドレス 電話寄号 ※半角	F;		8	游 県				
氏 名 のではアドレス 電話寄号 ※半角 所在地	氏 〒 ※半角 市区部以下 ビル名等	企业协会由请求 下面	各道					
氏 名 の発達病先 / 内容な	氏 〒 ※半角 市区部以下 ビル名等	たが決議 中請者と展	8					
氏 名 «THAIIアドレス 羅結香号 ※半角 所在地	氏 〒 ※半角 市区部以下 ビル名等	たが決議 中請者と展	各道					
氏名 CTHAITアドレス 職話等等、※半角 所従地 の他連絡を / 内容に 事案者名・役款等 かがな	氏 〒 ※井角 市区部以下 ビル名等	先が検証中請者と果	名 お送 なる場合のみご記入下さい ふががな					
氏 名 STHELITYドレス 職話答号 ※半角 所在地 の他連絡を / 内容に 本条名名 特番名・位数等 AMERICAL 氏名	氏 〒 ※半角 市区部以下 ビル名等	多梦晓菜中游者 と果	お道 お道 なる場合のみご記入下さい					
氏名 会・中国・アドレス 職話等等、半年角 所在地 の発達者を / 内容に 事条者名 計番名・役職等 かががた 氏名 マーコードレス	氏 〒 ※井角 市区部以下 ビル名等	先梦瑜証中請者と展	名 お送 なる場合のみご記入下さい ふががな					
氏 名 < THE IT PLA	氏 ※半角 市区部以下 ビル名等 こついての両合せ	たが検証中途者と展	名 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)					
氏 名 《THAITアドレス 羅話符号 ※半角 所依地 の他連絡を / 内容に ※条名名 対容のと概略 かがた 氏 名 《THAITアドレス は信仰を・機等)※半角	天 ※半角 市及部以下 ビル名等 ついての両合せ トルがな 氏	たが依証中語者と展	名 お送 なる場合のみご記入下さい ふががな					
氏 名 マーサルコアドレス 職話等号 ※半角 所在地 の他連絡を / 内容に ※条音名 等音名・役職等 かががた 氏 名 マーサルコアドレス	氏 デ ※牛角 市区部以下 ビル名等 こりいての関合せ ふんぱな 氏	克罗瑞英中游者と聚	名 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)					
氏 名 《THAITアドレス 羅話符号 ※半角 所依地 の他連絡を / 内容に ※条名名 対容のと概略 かがた 氏 名 《THAITアドレス は信仰を・機等)※半角	天 ※半角 市及部以下 ビル名等 ついての両合せ トルがな 氏	多罗纳夏中游者 と展	名 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)					
氏 名 《THAITアドレス 羅話符号 ※半角 所依地 の他連絡を / 内容に ※条名名 対容のと概略 かがた 氏 名 《THAITアドレス は信仰を・機等)※半角	天 〒 ※半角 市区部以下 ビル名等 ついての両合せ かがな 氏 ・ ※半角 市区部以下 ビル名等		名のなるのかご配入下さい ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					

4.2. 検証申請

検証申請書の作成が完了したら、事務局へ検証申請を行います。

算定ツールは容量が大きいため、そのままメールに添付するのではなく、ストレージサービス等を利用してください。

5. 登録公開手続きについて

5.1. 公開申請について

検証合格後、宣言は PDF 化したものを登録公開申請書とともに事務局に送付し公開手続きを行います。 その際、以下の情報(赤枠のセル)を検証合格済みの宣言に追記します。



(エコリーフ/CFP 宣言共通)

- 1) 登録番号
- 2) 公開日(申請より5営業日以上後の日付)
- 3) 検証合格日
- 4) 検証番号
- 5) 第三者検証の検証員氏名

赤枠の登録番号の欄に番号を記載すると、上下、シート2の緑の部分にも登録番号が自動記載されます。

PDF 化した宣言を確認し、文字や画像のバランス、見切れがないか等を確認してください。

以上

SuMPO 環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

TEL:03-5209-7712 FAX:03-6687-7360

URL: https://ecoleaf-label.jp/

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル